

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点
 「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際研究拠点」
 2021年度 国際共同研究成果報告書〔研究設備・資源活用型〕

2023年1月16日 提出

| | |
|---|--|
| 1. 研究課題名 | |
| 花供養と近世後期京都俳諧の研究 (英文標記:A Study on Kyoto-Haikai through the 18th and 19th Centuries Concerning Hanakuyo) | |
| 2. 研究代表者 | |
| 氏名 (ふりがな) | 所属機関・職名 |
| 〔日本語〕 竹内 千代子(たけうち ちよこ) 〔ローマ字〕 Takeuchi Chiyoko | 〔日本語〕 立命館大学・非常勤講師 〔英語〕 Ritsumeikan University, lecturer |
| 3. 研究分担者 (合計: 7名) | |
| 氏名 (ふりがな) | 所属機関・職名 |
| 堀 淳子 | 郷土史家 |
| 畑 忠良 | 郷土史家 |
| 松本節子 | 立命館大学・客員協力研究員 |
| 赤間 亮 | 立命館大学文学部・教授 |
| 金子貴昭 | 立命館大学衣笠総合研究機構・准教授 |

| |
|--|
| 4. 研究課題の概要 (300字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください) |
| <p>京都東山の芭蕉堂で毎年のごとく発刊された『花供養』を全冊にわたって翻刻し、近世後期の京都および全国の俳諧の実態を明らかにする。同資料は、近世後期のおよそ100年間、作者はおよそ全国に及ぶため、近世後期の日本、特に京都の俳諧史資料として有効である。このため、これによって江戸時代の俳諧と近代俳句との連続性あるいは非連続性の検証をおこなうことを目的とする。翻刻データは、すでに公開されている原本デジタル画像と同時に参照できるようにし、研究者間の共有を図る。2017年度より、対象を『花供養』以外の芭蕉顕彰資料に広げており、当年度も引き続き調査を実施するほか、必要に応じてデジタル化を実施する。</p> |
| 5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります) |
| <p>花供養のテキストデータの精査を行った。これについては、2021年度に刊行した『花供養翻刻集成Ⅰ』の続編として『花供養翻刻集成Ⅱ』の準備を進捗させた。また、近世後期の芭蕉顕彰俳諧資料の収集と考察を行い、『淀藩土連中と芭蕉顕彰俳諧—畑吟風俳諧資料と京俳壇—』を刊行した。同書は過年度の著書と同様、ARCのデータベース(近代書籍データベース)や、ARCのサーバ上にあるウェブサイト(http://www.arc.ritsumei.ac.jp/archive01/theater/html/hanakuyo/)からも閲覧可能である。</p> |

6. 研究業績 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

(1) 著書

竹内千代子編『淀藩士連中と芭蕉顕彰俳諧考—畑吟風俳諧資料と京俳壇—』(2022年2月、135頁)
<https://www.dh-jac.net/db1/mbooks/ARCX000634/portal/>

(2) 論文

竹内千代子「淀藩士吟風と田川鳳朗」(俳文学研究 76号、pp. 5-6)

(7) 科学研究費助成事業

・竹内千代子、「近世後期京都の芭蕉顕彰俳諧の研究」、基盤 C、2020年4月～2024年3月、代表